

ふちゅう歴史散歩 Vol.142

備後国府跡の出土品 陶硯④ 焼き物の硯陶硯



ココに汁がたまる設計。

ココが墨をする硯面。よく使っているので、表面スベスベ！

丸い模様が互い違いのかわいいデザイン。大きさ・形・模様、硯のデザインはバラエティ豊か！

府中市歴史民俗資料館に、他の硯も展示しています。ぜひ見に来いね。

備後国府跡出土 円面硯

硯は墨をすり筆で字を書くときに使う道具です。現在、硯という石でできたものを思い浮かべると人が多いでしょう。ところが、備後国府跡の発掘調査から出土した硯のほとんどは陶製、焼き物の硯である陶硯なのです。

硯の歴史は古く、紀元前の中国まで遡ります。当初は石製の硯が大半を占めていました。その後、使い勝手やデザインにこだわった円形や方形の陶硯が生まれます。日本には、飛鳥時代に中国やその影響を受けた朝鮮半島で当時大流行していた円形の陶硯が伝わり、その後平安時代の終わり頃まで作られ続けます。備後国府跡でも硯の形が円形で墨をする部分以外に装飾を凝らした円面硯が出土しています。硯面は滑らかで、よく使われていたことがわかります。

陶硯は平安時代の終わり頃には少なくなり、石硯に代わっていきます。硯は陶硯から石硯へと材質を変えながら、今もなお字を書く道具として私たちの生活を支えています。

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見!

「府中高校1年目を通して」 高校生編 その99



投稿者(文と写真)

府中高校1年
安原 温愛さん

府中高校に入学し半年以上が過ぎました。今の気持ちを簡単に言うと「あっという間」という言葉が一番です。入学して最初の大きな行事は文化祭でした。初めはコロナ禍で制限されている中での文化祭は正直あまり面白くなさそうというのが本音でした。しかしながら、実際には3年生のクオリティーの高い演劇など、中学校の文化祭とは全く違う高校の文化祭にとっても感動しました。さらに、文化祭までの準備期間についても、沢山の人が頑張っている過程を見ることができました。

次にあった大きな行事は大運動会です。私は、応援団に挑戦しました。早朝と放課後に練習したりなど大変でした。しかし、色々なことを経験し、最高の思い出をつくることができ幸せでした。一人一人が本気で取り組むことで、府中高校の素晴らしい行事が創られていることを実感しました。

高校へ入学し一番自分を成長させたことは、韓国への短期留学です。1週間活動をしていく中で素敵な友達と出会い、自分にとって新たな目標をつくることができました。韓国語という言葉一つだけで世界中の人と通じ合え、沢山のことを知りました。辛いと感じることもありましたが、小さな挑戦がここまで繋がったと考えると頑張った良かったなと思います。

府中高校で、「挑戦する事は自分にとって貴重な経験になる」ということを実感しています。失敗することもあるかもしれないけど、その経験はいつか役に立つと思うので、私は今のうちに沢山のことを経験したいです。

このように私は今、沢山のことを学んでいます。先生方に助けていただいたり、友人と協力したりして、毎日充実した学校生活を送っています。

府中市RCCラジオ番組「府中に夢中！」 毎週月曜日16:30~16:45(そのうちの5分間) RCCラジオ(1530KHz)

放送日	放送内容
2月6日	府中東高校の生徒がG7広島サミットの「カウントダウンボード」を製作!
2月13日	ドローンフェス2023in府中を開催!
2月20日	ガンダムびなも!?天領上下ひなまつり開催!
2月27日	はじめてのオペラシリーズ「セヴィリアの理髪師」上演

公式SNS
LINE

公式SNS
facebook

スマホアプリ
radiko(ラジオ)

府中市メール
配信サービス

My府中

iPhone

Android